

令和7年度

藍住北小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 教員一人一人の授業力アップと、児童の個々の能力に対応した指導方法の工夫
- 「主体的・対話的で深い学び」のための教材・教具として、ICTを活用した授業の実践

校長

山口 詳二

学力向上推進員

野崎 真紀

【取組状況の把握について】

自分の考えを発表するために話し合いの機会を増やすとともに、知識・技能の習得状況を調査するために学期ごとに確認テストを実施する。  
研究授業の際には、本校の課題となる表現力を高める手立てに視点を置いて話し合う。

◎以下の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進を図る

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○「学びタイム」等での継続的な取組で、基礎・基本の定着が見られる。</p> <p>○課題に対して真面目に取り組む児童が多い。</p> <p>●正しい内容を聞き取ったり、読み取ったりすることが苦手な児童が多い。</p> <p>●基礎的な内容の定着については、向上しているが個人差が大きい。</p> <p>●語彙数が少なく、学年に応じた文を書く力にも大きな差がある。</p>	<p>・当該学年での基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。</p> <p>・語彙数を増やし、日常生活で、自分の考えや思いを言葉を選んで話したり、分かりやすく文章を書いたりできる。</p> <p>・これまでに学習してきた「話すこと・聞くこと・書くこと」の内容を他の教科に生かすことができる。</p>	<p>・学びタイムで既習の内容を反復学習し、定着を図る。</p> <p>・ノートやワークをチェックする機会を定期的に設ける。</p> <p>・スピーチや日記、メモをとる等、話す、聞く、書く活動の機会を計画的に設ける。</p> <p>・少人数担当教員と支援員によるT.Tを配置することで児童のつまずきに対応する。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○自分の思いを他者に伝えたいという気持ちをもっている児童が多い。</p> <p>○ペアやグループでは、意見を伝え合ったり、ともに考えを深めたりすることができる。</p> <p>●自分の思いや考えを説明したり、伝えたりすることが苦手な児童がいる。</p> <p>●目的や条件に応じて、文章を書いたり要約したりすることや、聞き取ったり話したりする力に課題がある。</p>	<p>・場に応じた話し方や声の大きさで自分の考えを進んで話すことができる。</p> <p>・相手の話を最後まで聞き、自分の考えと比べたり似ているところを見付けたりしながら、聞くことができる。</p> <p>・課題に対して自分なりに考え、自分の意見や考えをもつことができる。</p>	<p>・授業の中で、自分の思いや考えを説明する場面を意図的・計画的に設ける。</p> <p>・ペアやグループでの活動を積極的に取り入れ、自分で考えようとする習慣をつける。</p> <p>・ICTを活用し、話し方や書き方、聞き方の例を示したり、模範となる意見を提示する。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○授業準備やチャイム着席などは定着している学年が多い。</p> <p>○新しく学ぶことに意欲的に取り組むことができている。</p> <p>●与えられた課題に対して真面目に取り組むが、自分から進んで課題を見つけて取り組むことや見通しをもって取り組むことが苦手である</p> <p>●少し難易度が上がると、諦めてしまいがちになったり集中力が続かなかつたりする傾向がある。</p> <p>●家庭での読書時間が少ない児童も多い。</p>	<p>・次時の学習準備やチャイム着席など、学習に取り組む基本姿勢が定着している。</p> <p>・発達段階に応じた本を選び、読書に進んで取り組んでいる。</p> <p>・自分から進んで、楽しみながら学習に取り組もうとする態度を身につける。</p> <p>・苦手なことに対して、諦めずに粘り強くやり抜くことができる。</p>	<p>・授業準備や机上整理を済ませ、休み時間の活動に入る。チャイムの合図と同時にスムーズに授業を開始できるようにする。学校全体でSWPBSに取り組む、児童の主体性を高め、できている児童を称賛し、定着させる。</p> <p>・朝の読書、週末の家族読書、教師やPTAによる読み聞かせ等で読書の時間の充実を図る。</p> <p>・学習に興味関心を持ち、意欲的に取り組むことができるよう、授業改善に取り組む。</p> <p>・結果だけでなく、挑戦したことを肯定的に評価し、取り組もうとする意欲を高める。</p> <p>・家庭学習の取り組み方を具体的に示し、手本となる事例を児童や家庭に知らせる。</p>			